

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

no

1

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

チュウホクドットコム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

生涯学習環境づくりに向けて

中北教育事務所
所長 石丸 洋一

平成26年度がスタートし、1ヶ月が過ぎました。皆様方におかれましては、日頃より中北教育事務所の社会教育における業務におきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。

さて、山梨県教育委員会では、時代の要請に的確に応えながら、本県教育の一層の振興を図るため、平成26年度から30年度までの5年間を計画期間とする本県教育振興の基本計画である『新やまなしの教育振興プラン』が策定されその1年目がスタートしました。

この計画では、「未来を拓く『やまなし』人づくり」の基本理念の下、「夢と希望に向かって自ら学び、考え、行動する『たくましい力』を育てる」と、「他者を思いやり、社会の絆を深める『しなやかな心』を育む」の2つを基本目標とし、これを実現するために、10の基本方針および目標となる指標が設定されています。

その基本方針の一つに「生涯にわたり学び続けることができる環境づくりの実現に取り組みます」という施策の内容が示されております。

そこで、「生涯にわたり学び続ける」ということを、改めて考えてみようと思います。私たちは、出生直後から無意識のなかで何かしらの学び(こと)をはじめていると思いませんか。その学びのはじまりは、家庭という「場」における学びからだと思えます。やがては、学校という「場」において、教育課程のもとで学習が行われるようになります。また、その間も家庭や学校以外の様々な「場」において学び(学習)と深くかかわりながら生活していると思えます。そして、学校を卒業し社会という「場」にでてからも、仕事にかかわること、興味や関心に基づくことなど、今まで以上の様々な「場」で学びをとおして、日常の生活をしているのではないのでしょうか。このように、私たちの一生は、生涯にわたって何かしらの学び(学習)と深くかかわりながら日々の暮らしを送っていると思えます。

近年の社会教育は、生涯学習に包摂されるものであり、社会の変化に対応した地域住民の参加の推進や自主的な取組の促進をより奨励し援助していく行政の一層の取組が必要になってくると思います。

教育事務所といたしましても地域教育支援スタッフが、生涯学習振興にかかわる業務にも携わっており、多様な学習機会の提供及び生涯学習推進体制の充実などへの取組をとおして、やまなしの生涯学習環境づくりの一端を担っていきたいと考えております。

今、社会という側から見て、生涯にわたる学びをとおして身近な地域社会の抱える課題への解決に参画し、さらには社会の絆づくりにも積極的に参加することは、とりもなおさず、私たちの身近な中での小さな取組であっても社会の抱える課題解決に資することができるのではないのでしょうか。

生涯学習環境振興のため関係各位の皆様方には、多方面にわたり、ご支援ご協力を今後とも、よろしく願いいたします。



平成25年度 山梨ことぶき勸学院 卒業証書授与式

講演会・異世代交流会 / 第3回ふれあい行事



瀧田 武彦 学院長

山梨ことぶき勸学院は、平成26年3月12日(水)に、甲府市のコラー文化ホールにおいて、卒業証書授与式を挙

行了しました。

甲府教室・中北教室の卒業生109名は、多くの来賓のもと、瀧田武彦学院長より、卒業証書を授与されました。

瀧田学院長は式辞の中で、「今年度の卒業生234名は、拠点方式への過渡期の2年間であったが、通学距離や授業の曜日等の変更にも拘わらず、よく努力、精進されたと聞いている。経済優先の世の中で、他人への気遣いや思いやりといった日本本来の良さが失われ、特にいじめ問題には心が痛む。

和辻哲郎文化賞を受賞した渡辺京二さんの『逝きし世の面影』にあるような、愛らしく、礼節を備えた子どもたちはどこへ消えたのか。原因は、親、大人たちにある、なぜなら子は親の鏡であるからだ。いじめを傍観する子には、不正を許さない正義をもち、また不正に立ち向かう勇気を育て、意見交換や理解を基調とする、ゆとりに満ちた心を持ってほしい。そのためにも大人自らが弱者に手を差し伸べ、決して折れないしなやかさを備えた心を鍛え、それを鏡に映したいものだ。

現在、山梨県教育委員会では、「しなやかな心の育成プロジェクト」を推進し、家読推進運動、心をはぐくむ「あいうえお」など、各地域や家庭での取り組みを推進している。勸学院の卒業生にも、その豊かな知識、技術、社会的経験を生かされ、各地域や家庭において率先してこれらの取り組みにご協力いただきたい。」と述べられました。

講演の後、異世代交流として、甲府市の城北幼稚園の園児によるマーチングと体育活動が披露され、卒業生は喝采を送っていました。



講演会

「命の授業」

講演家

腰塚 勇人氏

講師の腰塚勇人さんは、中学校の体育教師として「熱血指導」の日々を送っていたが、36歳の時、スキーでの転倒で首の骨を折り、奇跡的に命は取り止めたものの、首から下がまったく動かなくなった。当時、医師からは「一生、寝たきりか、よくて車イス」の宣告を受け、あまりの絶望に自殺未遂をする。その後、妻、両親、主治医、看護師、生徒たち、職場の同僚などの応援と励ましを受け、「自分の命があらゆるものに助けられ、生かされていること」に気づき、「笑顔」と「感謝」



と「周りの人々の幸せを願う」ことにより、奇跡的な回復力を発揮、そして下半身と右半身の麻痺など、身体に障がいを残しながらも、4ヵ月で現場に復帰し、

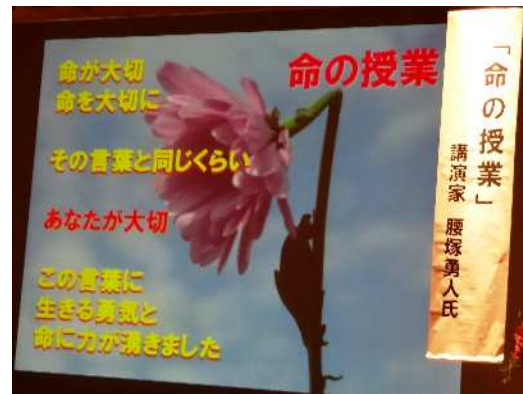
中学3年生の担任を務めた。

2010年3月、教職を辞し現在は、「命の授業」の講演や著書を通して、命の大切さ・生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間の大切さを全国で訴えている。

腰塚さんは入院中、涙ながらに「力になりたい、一緒に頑張らせてください」と言う看護師に対して、初めて「助けて」と素直に言うことができた

という。そして「笑顔」と「ありがとう」を言えた時から、自分の「今日」が変わりはじめ、思ったことは、きちんと言葉にしないと伝わらないことを知ったという。復帰後は、「あたりまえが幸せであることを教えてくれた身体のために、私の命と人生を助けてくれた人たち(=ドリー夢メーカー)がしてくれたことを今度は私がすると決意した。

「今の自分の言動は、未来の自分の予言者であり、過去の感謝は今と未来の責任に繋がる。」とし、「いきる」とは一人で生きていないことを知り、感謝とおもいやりと責任を行動で見せることであると結んだ。



平成25年度

「総合的な学習の時間」「キャリア教育支援事業」実践発表会

平成26年2月14日(金)、県総合教育センターにて「総合的な学習の時間」「キャリア教育支援事業」実践発表会が行われました。降りしきる雪にも拘わらず、多くの高校の「総合的な学習の時間」や進路指導の担当者の参加する中、谷村工業高等学校と甲府商業高等学校の2校が実践発表を行いました。甲府商業高校は、「総合的な学習の時間」に関する実践事例として「甲商デパートの取組」と題して跡部 尚教諭が発表を行いました。

「甲商デパート」とは

全ての学級が1つ(3年生は2つ)の店舗を設けるが、いわゆる学園祭の模擬店とは異なり、仕入れ・販売・会計・商品開発・店舗設計・宣伝方法を学ぶ経営実習である。第1回は昭和32年に行われ、物資のない時代でもあったことから、地域の人々から大好評を得たという。毎年11月の第2土曜日に行われ、昨年度で57回目を数える。平成15年度からは「総合的な学習の時間」の一環としても取り組みが開始された。

総合的な学習の時間の中で

甲商デパートに向けた取り組みは、5月の全校ガイダンスに始まる。販売商品の検討に関しては、マーケティングに興味関心を持たせ、また販売者の立場になることで、賢い消費者になる能力を身につける。販売商品決定後は、宣伝活動の効果的な方法を学ぶとともに、キャッチコピーを実際に作成する。その際、「商品の特徴から得られるさまざまなベネフィット(利益・恩恵)を伝えることで、お

客様に求める行動をしてもらう」、という基本に立って、

何を言えば売れるのかを「見つける！」体が思わず反応することを「探す！」話し言葉や数字を入れ



甲府商高・跡部 尚教諭

て「考えてみる！」、をポイントにして制作されたキャッチコピーは、選定された魅力的な商品(お買い得な商品・車などのびっくりするような商品・ここでしか買えない商品)をさらに後押しすべく、さまざまな宣伝活動に生かされている。

デパートならではの取り組みへ

仕入・販売部は、販売商品・数量の検討・決定、販売価格の検討・決定、接客、を担当するが、「デパート」ならではの品数への取り組みとして、平成22年度からは、軽自動車の販売も開始、また「くまモンの熊本ラーメン」をはじめとするご当地商品も扱っている。さらに今年は、サン宝石(中央市)の人気キャラクター「ほっぺちゃん」が入ったオリジナル商品も開発した。

宣伝部は、ポスター作成・配付に加え、山梨のグルメ・観光ガイドである『ParuPi』にクーポン券とともに掲載、また県高校芸文祭開会式にて宣伝用ポケットティッシュの配布、さらにフェイスブックを使い、準備段階から当日までの様子を伝える等、さまざまな媒体を駆使して宣伝を行った。また、ご当地キャラの「とりもっちゃん」も甲商デパートに花を添えた。

他校との連携

全国の高校生が開発した商品とともに、地元については、北社高校の野菜・シクラメン、農林高校のお米を販売している。さらに甲府市立甲府商科専門学校とも連携し、「ミニ甲府市商店街」が登場するなど、横断的な活動も積極的に行っている。

中北教育事務所 地域教育支援スタッフ 業務紹介

業務内容

社会教育の振興・生涯学習の振興

中北地区市町社会教育担当者会議 生涯学習推進 生涯学習ボランティアバンク

やまなしまなびネットの支援推進 社会関係団体活性化事業の支援 図書館 金銭教育

自然保護 環境教育の振興 等

地域教育の推進

地域全体で取り組む教育の推進

峡中・峡北地区地域教育推進連絡協議会

峡中地区峡北地区合同地域教育フォーラム

地域教育情報紙「中北.com」の発行

異校種間の授業参観の冊子発行

高校生インターンシップ推進事業

放課後子どもプラン推進事業 等

家庭教育・幼児教育

「中北地区子育て相談窓口・教育相談窓口」の冊子発行 子育て支援リーダーステップアップ事業 等
青少年の育成

青少年教育推進 人権教育 フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」の支援 等

山梨ことぶき勸学院 〈甲府・中北教室〉 紹介

生涯学習の理念に立ち、人生80年時代の高齢者に対して、専門的かつ継続的な生涯学習の場を提供し、高齢者の学習ニーズに応えるとともに、高齢者の生きがいづくりを支援し、活力に満ちた地域づくりの指導者養成を目指します。4月15日に入学式・始業式が挙行され、新体制のもと、1年甲府教室51名・中北教室48名の生徒さんが入学し、学園生活がスタートしました。



お知らせ

地域教育推進連絡協議会の事業を次の日程で開催します。

峡中・峡北地区合同地域教育フォーラム

日時 10月24日(金)

会場 日本航空学園 J-ship ホール

第1回峡中・峡北地区地域教育推進連絡会議・研修会

日時 6月12日(木) 14:00~16:30

会場 北巨摩合同庁舎

第2回峡中・峡北地区地域教育推進連絡会議・研修会

日時 2月12日(木) 14:00~16:30

会場 北巨摩合同庁舎

「中北地区 子育て相談窓口・教育相談窓口 案内」を作成し、保育所、幼稚園、小・中・高及び特別支援の各学校に配付しました。冊子の内容は当教育事務所のホームページでも御覧になれます。

「中北地区異校種間授業参観『公開できる授業等一覧』」を6月初旬に発行・配布予定です。

関係の学校には、御協力いただきありがとうございました。

平成26年度『中北.com』 1

編集・発行

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

中北教育事務所 地域教育支援担当

電話 0551-23-3046

内藤 阿部 野崎

ファックス 0551-23-3013

『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。

アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>